

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、
2017年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見をお受けしております。

ご意見がございましたら、お電話やおハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社 広報IR部

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



本誌は、FSC®認証紙と、植物性インキを使用しています。

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元（100株）未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

■ 特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

配当金に関するお知らせについて

当社では、郵便ハガキによる「期末配当金に関するお知らせ（中間配当金の支払に関する取締役会決議ご通知）」の送付を廃止いたしました。当社ホームページへの掲載によりご案内しております。

ホームページ <http://www.alfresa.com/>



アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

株主のみなさまへ

2018年3月期報告書

(2017年4月～2018年3月)

証券コード 2784

TOP MESSAGE



代表取締役社長

久保泰三

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
2018 年 3 月期における事業の状況と、
今後の見通しについてご説明いたします。

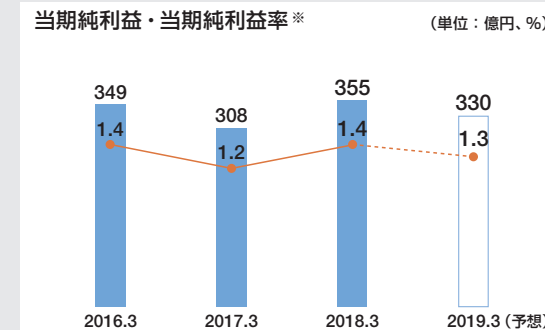
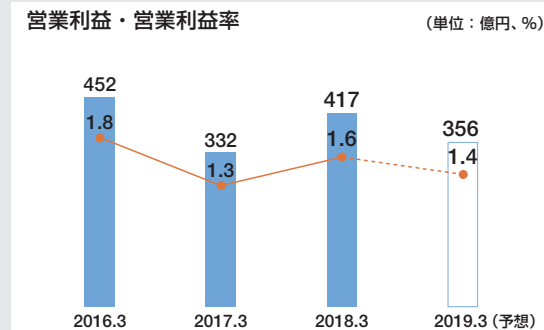
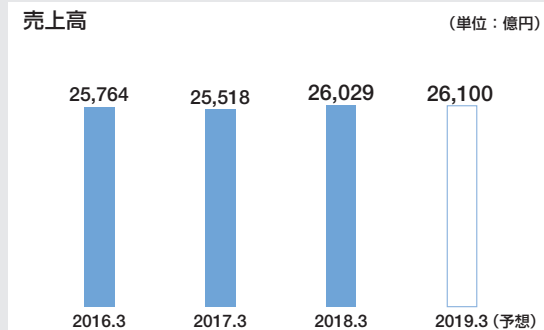
2018 年 3 月期の事業環境と業績

当連結会計年度の国内景気は、企業収益や所得環境等の着実な改善と消費者物価の上昇が続くなか、緩やかな回復が続きました。当社グループは 2016 年 5 月に「16-18 中期経営計画 明日への躍進」を発表し、グループ経営方針（Challenge 3）として掲げた「グループ一体となった事業強化」「健康・医療関連領域の拡充」「環境変化に先駆けた事業モデルの変革」に取り組み、企業価値の持続的な成長に注力してまいりました。

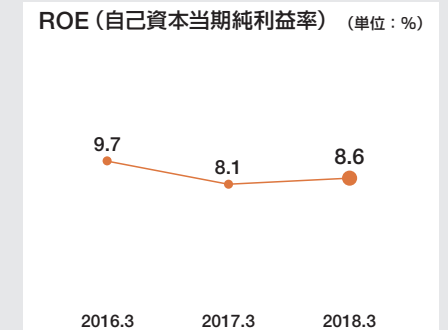
当連結会計年度の業績は、売上高 2 兆 6,029 億 17 百万円（前期比 2.0%増）、営業利益 417 億 56 百万円（同 25.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 355 億 89 百万円（同 15.2%増）、ROE（自己資本当期純利益率）8.6%となりました。

16-18 中期経営計画の 2 年目にあたる 2018 年 3 月期は、すべてのセグメントが前期比で増収、増益を記録し、中期経営計画で掲げる経営指標の達成に向けて一定の進捗をいたしました。

連結業績ハイライト



※ 当期純利益(率)は、親会社株主に帰属する当期純利益(率)を掲載しております。



事業別の取り組み

医療用医薬品市場は、C 型肝炎治療薬需要の減少や、後発医薬品への切り替えに伴う長期収載品減少の一方で、抗悪性腫瘍剤の販売拡大の影響等により、全体としては前期比 0.2%増とほぼ前年度並みとなりました（クレコンリサーチ＆コンサルティング株式会社推定）。このようななか、医療用医薬品等卸売事業におきましては、業界共通の最重要課題である「流通改革の推進」の取り組みを徹底いたしました。また、営業機能の改革の一環として、グループをあげて MS（営業担当者）の専門資格取得に取り組み、「医療経営士」の認定資格取得者が 2018 年 4 月末現在で 1,153 名となり、

1,000 名を突破いたしました。さらに、グループ全体最適に向けたグループ内の再編（→ P.5）や、再生医療分野での取り組み（→ P.6）などを進めました。

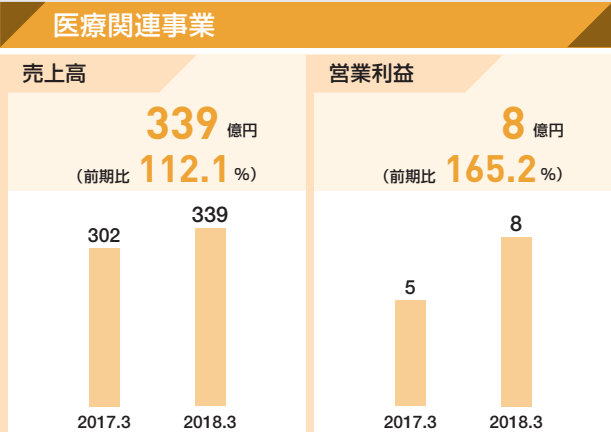
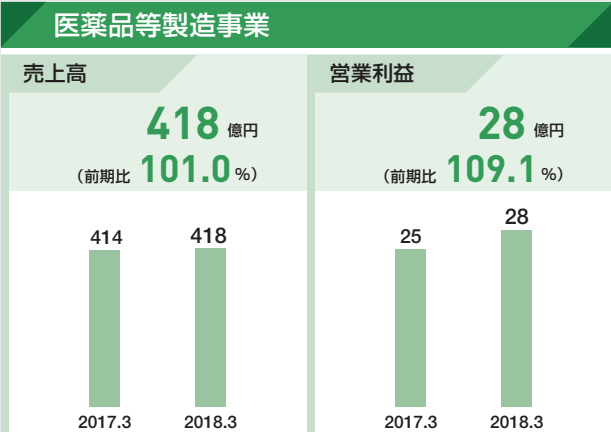
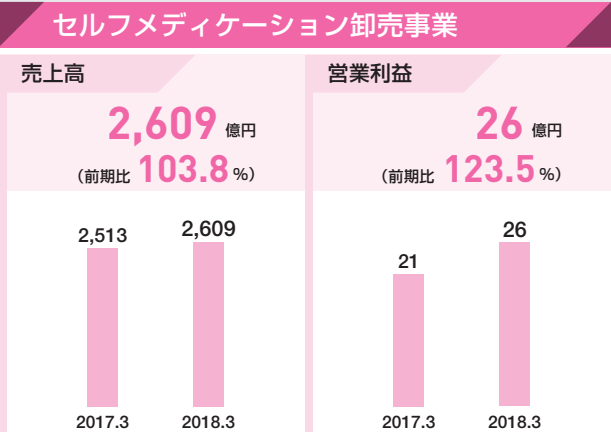
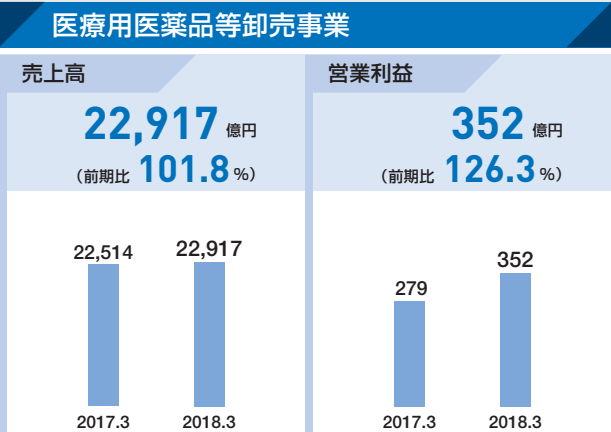
セルフメディケーション卸売事業におきましては、さらなる事業基盤の強化や付加価値営業の強化に取り組みました。お客様に新たな付加価値を提案するソリューション型商談会の開催に加え、利益率の高い専売メーカー・専売商品を拡充することで利益の確保に努め、すでに中期経営計画の目標を達成いたしました。今後も「質の高い成長」を追求し、安定的な収益基盤を構築してまいります。

今後の見通し

「16-18 中期経営計画 明日への躍進」の最終年度である 2019 年 3 月期におきましては、引き続きグループ経営方針（Challenge 3）の実現に取り組むとともに、セグメント別の重点施策を徹底いたします。地域包括ケアシステムの進展により医療・介護機能の供給体制の変化が見込まれるなか、アルフレッサグループは医療用医薬品 No.1 卸として環境変化に先駆けて自らを変革し、今後も持続的な成長をめざしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業別の業績



前進するアルフレッサグループ

アルフレッサグループは、環境変化に先駆けて事業基盤を強化しながら、持続的な成長に向けた取り組みを進めています。

その最新動向についてご紹介いたします。

事業基盤の強化

グループ全体最適の追求

グループにおける経営資源の有効活用や事業基盤の強化に向けて、グループ内の再編を進めております。2018年10月に、東北地方で医療用医薬品等卸売事業を行う株式会社恒和薬品と株式会社小田島が合併し、「東北アルフレッサ株式会社」に商号変更を行う予定です。また、2018年7月に、株式会社恒和薬品の北海道エリアにおける同事業をアルフレッサ株式会社に譲渡いたします。

成長分野での取り組み

スペシャリティ医薬品流通の強化

アルフレッサグループでは、スペシャリティ医薬品流通を強化しております。スペシャリティ医薬品流通に特化したエス・エム・ディ株式会社を窓口に、全国をカバーする流通網と、高度な輸送技術、製造事業との連携など、当社グループならではの強みを活かして医薬品メーカーや医療機関等のニーズにお応えし、着実に実績を増やしております。これからもスペシャリティ医薬品流通のさらなる高度化、効率化に取り組み、必要とされる医薬品を確実かつ効率的に患者様の元にお届けしてまいります。

スペシャリティ医薬品とは

対象患者の数が極端に少ない希少疾病治療薬や、低温輸送等の特別な取り扱いが必要な医薬品など、流通において特別な管理を必要とする製品です。

合併後の状況（予定）

商 号：東北アルフレッサ株式会社
事業内容：医療用医薬品、医療機器、医療用検査試薬等の卸売販売
本店所在地：福島県郡山市
資 本 金：105 百万円

再生医療分野での受託

成長分野である再生医療において、2017年12月に、アルフレッサ株式会社がテラファーマ株式会社の開発する再生医療に用いられる治験製品の輸送管理業務を受託する委受託契約等を締結いたしました。アルフレッサグループ初となる再生医療分野での受託を通じて、再生医療等製品の輸送実績を積み、細胞製品の温度管理評価や輸送に関する業務手順の確立を図ります。

再生医療等製品とは

人の細胞に培養等の加工を施したものであって、身体の構造・機能の再建・修復・形成や、疾病の治療・予防を目的として使用するもの、または遺伝子治療を目的として、人の細胞に導入して使用するものです。

持続的成長に向けた人財活用

アルフレッサグループでは、業務の標準化や効率化、役割分担の見直し等により、生産性の向上に取り組んでおります。同時に、従業員の残業時間の削減や、有給休暇の取得促進などの働き方改革を推進しております。多様な人財がいきいきと働き、より付加価値の高い業務に集中できる環境を整えることによって、グループの持続的成長を実現してまいります。

連結財務諸表（概要）

連結貸借対照表

科 目	前 期	当 期
	2017年3月31日現在	2018年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	962,872	1,027,015
現金及び預金	164,430	191,874
受取手形及び売掛金	601,962	612,920
有価証券	4,000	4,010
たな卸資産	132,103	133,730
その他	60,376	84,479
固定資産	293,049	316,268
有形固定資産	133,196	136,886
建物及び構築物	51,359	50,345
土地	64,577	65,248
その他	17,259	21,292
無形固定資産	13,800	12,138
のれん	6,308	5,081
その他	7,492	7,057
投資その他の資産	146,052	167,243
投資有価証券	128,720	148,260
その他	17,332	18,982
資産合計	1,255,922	1,343,284

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前 期	当 期
	2017年3月31日現在	2018年3月31日現在
負 債 の 部		
流動負債	814,576	854,235
支払手形及び買掛金	784,538	814,589
短期借入金	549	859
その他	29,488	38,786
固定負債	47,795	53,114
長期借入金	1,286	1,213
退職給付に係る負債	14,731	14,041
その他	31,776	37,859
負債合計	862,372	907,349
純 資 産 の 部		
株主資本	333,486	361,391
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,936	101,945
利益剰余金	229,115	257,016
自己株式	△16,020	△16,025
その他の包括利益累計額	58,847	73,376
その他有価証券評価差額金	62,479	75,725
繰延ヘッジ損益	△3	△0
土地再評価差額金	△3,948	△3,948
為替換算調整勘定	114	133
退職給付に係る調整累計額	205	1,467
非支配株主持分	1,215	1,165
純資産合計	393,550	435,934
負債純資産合計	1,255,922	1,343,284

連結損益計算書

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前 期	当 期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	2,551,801	2,602,917
売上原価	2,369,236	2,409,363
売上総利益	182,565	193,554
販売費及び一般管理費	149,336	151,798
営業利益	33,228	41,756
営業外収益	10,912	10,813
営業外費用	512	708
経常利益	43,628	51,861
特別利益	3,627	761
特別損失	2,571	1,056
税金等調整前当期純利益	44,684	51,567
法人税、住民税及び事業税	12,705	16,085
法人税等調整額	896	△226
法人税等合計	13,602	15,858
当期純利益	31,082	35,708
（内訳）		
親会社株主に帰属する当期純利益	30,893	35,589
非支配株主に帰属する当期純利益	188	118

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前 期	当 期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,342	47,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,409	△10,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,807	△9,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	15
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,092	27,571
現金及び現金同等物の期首残高	158,462	167,554
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	467
現金及び現金同等物の期末残高	167,554	195,593

株式情報

(2018年3月31日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	9,941名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	18,341	—
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,877	3.6
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,752	3.6
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,627	2.6
5	エーザイ株式会社	4,602	2.1
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	4,182	1.9
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.8
8	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,655	1.7
9	第一三共株式会社	3,202	1.5
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	3,122	1.4

※所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)※2%以上を基本方針としております。

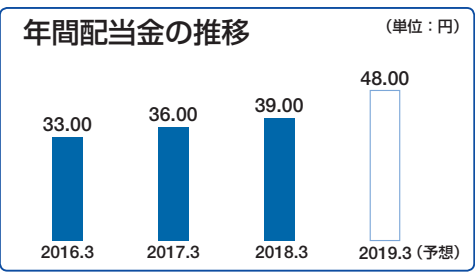
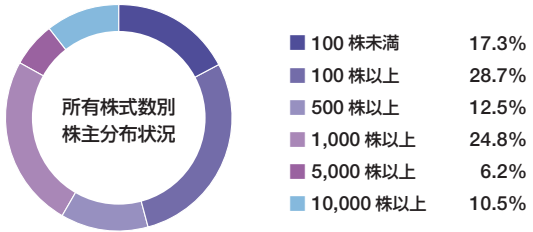
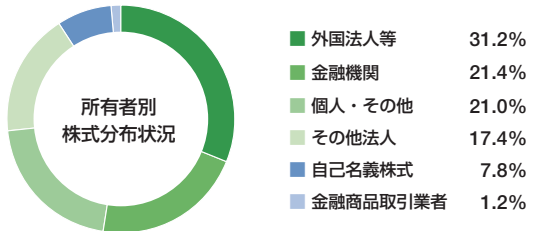
2018年3月期の期末配当金は20円とし、中間配当金19円と合わせて年間配当金39円といたしました。2019年3月期配当につきましては、中間配当金および期末配当金の予想は普通配当21円に設立15周年記念配当3円を加えて各24円となり、年間配当金48円を予定しております。

※純資産配当率 (Dividend On Equity)

配当金総額を純資産で除した数値で、株主からの出資金や事業を通じて得た利益の蓄積である純資産という「元手」に対し、どれだけの金額を配当という形で株主に還元しているかをみる経営指標です。純資産配当率は、当期純利益※を純資産で除した「自己資本当期純利益率※」と、配当金総額を当期純利益※で除した「配当性向」を掛けて算出することもできます。(この計算における純資産とは、連結貸借対照表の純資産の部より非支配株主持分を除いたものです。)

※当期純利益(率)は、親会社株主に帰属する当期純利益(率)を掲載しております。

株式の分布状況



会社概要

(2018年3月31日現在)

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
(Alfresa Holdings Corporation)

本社所在地 〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目1番3号

従業員数 11,901名(連結)

設立年月日 2003年9月29日

事業の内容 医薬品、医療用検査試薬、医療機器・
用具の卸販売、製造販売、輸出入等
ならびに調剤薬局の経営とこれらに
附帯する事業を行う子会社の管理等

資本金 18,454百万円

グループ会社 (2018年4月1日現在)

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社小田島
- 株式会社琉薬
- 株式会社恒和薬品
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社
- 株式会社茂木薬品商会

取締役および監査役 (2018年6月26日現在)

代表取締役会長	鹿目 広行
代表取締役社長	久保 泰三
取締役	三宅 俊一 (副社長)
取締役	増永 孝一 (副社長)
取締役	泉 康樹 (専務執行役員)
取締役	荒川 隆治 (常務執行役員)
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役(社外取締役)	寺井 公子
取締役(社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役(社外取締役)	金野 志保
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アボロメディカルホールディングス株式会社
- 株式会社日本アポック

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社